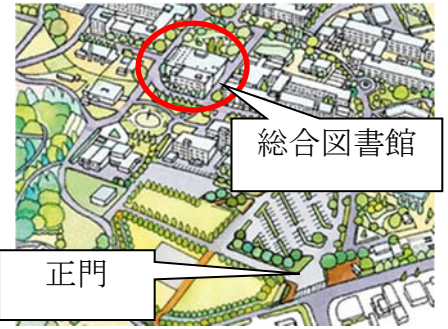




山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU-AP)

## ループリック事例報告ワークショップ

—『山口と世界』授業実践などを例にして—



### 【趣 旨】

本学では、2013年度から大学教育学会課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」との連携により、初年次教育科目『山口と世界』を対象としたループリック開発・実践活用を進めてまいりました。

今回のワークショップでは、『山口と世界』の事例報告に加え、名古屋商科大学経営学部 亀倉正彦教授から同大学のループリック開発取組を紹介していただきます。京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代教授からのアドバイスをいただきながら、ループリックの活用の方法や課題等について、参加者とともに理解を深めたいと思います。

なお、本ワークショップは、山口大学が採択された文部科学省・大学教育再生加速プログラム(YU-AP)の一環として開催いたします。

日時

2015年

2月27日(金)

14:00~17:00

場所

山口大学総合図書館  
アカデミックフォレスト  
(吉田キャンパス内)

対象

学内外の教職員

【申込方法】 件名「ループリックWS申込」とし、「①氏名、②所属・職名、③e-mail」を記入の上、E-mail: [yuap@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:yuap@yamaguchi-u.ac.jp) (担当: YU-AP推進室) へてに、2月24日(火)までに送信願います。

### 【問合せ先】

山口大学 大学教育機構 大学教育センター(YU-AP推進室) E-mail: [yuap@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:yuap@yamaguchi-u.ac.jp)



## 【概要】

14:00～14:10 開会挨拶

山口大学 大学教育機構 大学教育センター長 糸長 雅弘

14:10～15:20《第一部 事例報告》

(1)「『山口と世界』コモンルーブリック開発の経緯と課題」

山口大学 大学教育機構 大学教育センター准教授 林 透

(2)「学んでほしいことと評価できることの擦り合わせは可能か  
～『山口と世界』の事例から～」

山口大学 大学教育機構 大学教育センター講師 星野 晋

(3)「名古屋商科大学におけるルーブリック活用実践事例」

名古屋商科大学経営学部教授 亀倉 正彦

[休憩]

15:30～16:50《第二部 シェアリングタイム》

(1)「コメント&アドバイジング」

京都大学高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代

(2)グループ対話

(3)全体共有及び質疑応答

16:50～17:00 クロージング・閉会の挨拶

## 【用語解説】ルーブリックってなに？

学修評価の基準の作成方法の一つであり、評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」で構成されます。記述により達成水準等が明確化されることにより、他の手段では困難なパフォーマンス等の定性的な評価に向くとされ、評価者・被評価者の認識の共有、複数の評価者による評価の標準化等のメリットがあります(中教審答申・用語集より)。